第１号議案　　2007年度事業報告

Ⅰ　会員の異動状況

（2008年２月27日現在）

1.　会員の異動	前年度末	入会・就任	退　会（会費滞納による退会を含む）	物故者	現在数
⑴ 正 会 員	23,230 名	770 名	140 名	22 名	23,838 名
⑵ 名誉会員	29 名	1 名	0 名	0 名	30 名
⑶ 特別会員	41 名	7 名	0 名	0 名	48 名
⑷ 賛助会員(法人)	87 社	4 社	3 社	－	88 社

2.　役員・職員の異動	前年度末	就　任	退　任	物故者	現在数
⑴ 理　　事	20 名	0 名	0 名	0 名	20 名
⑵ 監　　事	2 名	0 名	0 名	0 名	2 名
⑶ 幹　　事	18 名	1 名	0 名	0 名	19 名
⑷ 評 議 員	220 名	17 名	17 名	0 名	220 名
⑸ 正会員代表	197 名	27 名	24 名	0 名	200 名
⑹ 事務局職員	14 名	2 名	1 名	0 名	15 名

3.　物故会員(敬称略)

⑴ 名誉会員　（無し）

⑵ 特別会員　（無し）

⑶ 一般会員　今岡　昭夫　荻原　京子　金井　武雄　上月　久治　斎藤　素子
櫻井　隆弘　佐藤　邦友　澤見　春康　高木　謙三　田守　靖男
堂山　　清　土用下和宏　野坂　　周　橋本　敏夫　日野　　亨
平井　達郎　本岡庸三郎　森岡　豊嗣　矢尾板裕幸　矢沢　健司
山村　昭夫　吉崎　大輔

Ⅱ　会議の事項

⑴ 第 72 回 総 会	2008年３月29日	福岡県・福岡国際会議場
⑵ 理 事 会	2007年６月29日	東京都・東京国際フォーラム
	2007年10月19日	東京都・東京国際フォーラム
	2008年１月25日	東京都・東京国際フォーラム
	2008年３月27日	福岡県・ホテル日航福岡
⑶ 評 議 員 会	2008年３月28日	福岡県・ホテルオークラ福岡
⑷ 総 務 委 員 会	2007年６月29日	東京都・東京国際フォーラム
	2007年10月19日	東京都・東京国際フォーラム
	2008年１月25日	東京都・東京国際フォーラム
	2008年３月27日	福岡県・ホテル日航福岡
・規約審議部会	2007年４月23日	京都府・(社)日本循環器学会事務局
・国内渉外部会	（開催無し）	
⑸ 財 務 委 員 会	2007年６月22日	京都府・(社)日本循環器学会事務局
	2007年10月12日	京都府・(社)日本循環器学会事務局
	2008年１月18日	京都府・(社)日本循環器学会事務局
	2008年３月21日	京都府・(社)日本循環器学会事務局
⑹ 監 査 会	2007年６月22日	京都府・(社)日本循環器学会事務局
	2008年１月18日	京都府・(社)日本循環器学会事務局
	2008年３月21日	京都府・(社)日本循環器学会事務局
⑺ 予 算 委 員 会	2007年12月５日	京都府・(社)日本循環器学会事務局

⑻ 編　集　委　員　会：2007年６月29日　東京都・東京国際フォーラム
2007年10月19日　東京都・東京国際フォーラム
2008年１月25日　東京都・東京国際フォーラム
2008年３月27日　福岡県・ホテル日航福岡

⑼ 学　術　委　員　会：2007年６月29日　東京都・東京国際フォーラム
2007年10月19日　東京都・東京国際フォーラム
2008年１月25日　東京都・東京国際フォーラム
2008年３月27日　福岡県・ホテル日航福岡

⑽ 専門医制度委員会：2007年６月29日　東京都・東京国際フォーラム
2007年10月19日　東京都・東京国際フォーラム
2008年１月25日　東京都・東京国際フォーラム
2008年３月27日　福岡県・ホテル日航福岡

・認定試験委員会：2007年９月25日　京都府・(社)日本循環器学会事務局

・専門医編集委員会：2007年６月29日　東京都・東京国際フォーラム
2007年10月19日　東京都・東京国際フォーラム

・専門医実務委員会：2007年２月13日　京都府・(社)日本循環器学会事務局
2007年３月27日　京都府・(社)日本循環器学会事務局
2007年７月20日　京都府・(社)日本循環器学会事務局
2007年12月14日　京都府・(社)日本循環器学会事務局
2008年２月２日　京都府・(社)日本循環器学会事務局

・ACLS必修化のための合同委員会：
（総務/心肺蘇生法/専門医制度委員会）
2007年６月９日　東京都・有限会社オフィス東京

⑾ 教育研修委員会：2007年６月29日　東京都・東京国際フォーラム
2007年10月19日　東京都・東京国際フォーラム
2008年１月25日　東京都・東京国際フォーラム
2008年３月27日　福岡県・ホテル日航福岡

・禁煙推進委員会：2007年９月10日　千葉県・シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル
2008年３月27日　福岡県・ホテル日航福岡

・心肺蘇生法委員会/ECC小委員会合同会議：
2006年４月12日　東京都・東京国際フォーラム

⑿ 健保対策委員会：2007年６月29日　東京都・東京国際フォーラム
2007年９月11日　千葉県・シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル
2008年１月25日　東京都・東京国際フォーラム
2008年３月29日　福岡県・ホテル日航福岡

⒀ 心臓移植委員会：2007年６月29日　東京都・東京国際フォーラム
2007年10月19日　東京都・東京国際フォーラム
2008年１月25日　東京都・東京国際フォーラム
2008年３月27日　福岡県・ホテル日航福岡

・適応検討小委員会：（開催無し）

・心肺同時移植適応検討小委員会：（開催無し）

⒁ 医療安全・医療倫理委員会：2007年６月29日　東京都・東京国際フォーラム

⒂ 情報広報委員会：2007年６月29日　東京都・東京国際フォーラム
2008年１月25日　東京都・東京国際フォーラム

・ホームページコンテンツ小委員会：（開催無し）

⑯ 国際交流委員会：2007年6月29日　東京都・東京国際フォーラム
2007年10月19日　東京都・東京国際フォーラム
2008年1月25日　東京都・東京国際フォーラム
・WCC招致準備委員会：
2008年3月28日　福岡県・福岡国際会議場
⑰ 支部長会議：（開催無し）
⑱ 学術集会運営委員会：2007年6月29日　東京都・東京国際フォーラム
2007年10月19日　東京都・東京国際フォーラム
2008年1月25日　東京都・東京国際フォーラム
2008年3月27日　福岡県・ホテル日航福岡
・学術集会プログラム小委員会：
2007年9月11日　千葉県・シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル
2007年12月20日　大阪府・ラフォーレ新大阪
⑲ 用語委員会：（開催無し）
・用語実務委員会：（開催無し）
⑳ コメディカル委員会：2007年10月18日　東京都・コンファレンススクエアエムプラス
2008年1月24日　東京都・コンファレンススクエアエムプラス
㉑ 国内交流委員会：2008年1月25日　東京都・東京国際フォーラム
2008年3月27日　福岡県・ホテル日航福岡
㉒ 循環器救急医療委員会/JCS-ITC運営小委員会：
2007年12月24日　東京都・東京女子医科大学

1. 日本循環器学会年次学術集会

第72回日本循環器学会総会・学術集会(JCS2008)
会期：2008年３月28日(金)～30日(日)
会長：松崎益徳(山口大学器官病態内科学)
会場：福岡国際会議場，福岡サンパレスホテル＆ホール，福岡国際センター，マリンメッセ福岡
メインテーマ：
循環器病学の輝く未来を目指して：発見，創造，そして挑戦
Seeking Sparkling Future of Cardiology － Discovery, Creation, and Brilliant Challenge
一般演題(口述，ポスター，Featured Research Session)
美甘レクチャー
Master Heart Progenitor Cells
Kenneth R. Chien (Harvard Medical School, USA)
真下記念講演
Molecular Basis of Antibody Memory
本庶　佑(京都大学免疫ゲノム医学)
特別講演
1．Update in the Brugada Syndrome
Josep Brugada (Thorax Institute, Cardiology Department, Hospital Clinic, Barcelona, Spain, Spain)
2．New Therapeutic Strategies for Heart Failure
Stephen F. Vatner (University of Medicine and Dentistry of New Jersey, USA)
3．Assessment of Coronary Disease by Myocardial Contrast Echocardiography
Anthony N. DeMaria (University of California, USA)
4．Reasons Why Left Ventricular Reconstruction (LVR) can Reverse Post Myocardial Infarct Severe Remodelling
Vincent Dor (Centre Cardiothoracique de Monaco, Principality of Monaco)
5．Cytokine Signaling and Innate Immunity in Heart Failure
Kirk U. Knowlton (University of California, San Diego, USA)
6．Heart Failure and Sudden Cardiac Death: Causes and Cures
Andrew R. Marks (Columbia University, USA)
7．A Fifty Year Research Odyssey; from Laboratory to Clinic
John Ross Jr. (University of Carifornia San Diego, USA)
8．The Proximal Map Kinase MAP 4 K 4 in Mause and Human Cardiac Muscle Cell Death
Michael D. Schneider (Imperial College London, UK)
9．Metabolic Syndrome-associated Cytokine and Heart Diseases
Kenneth Walsh (Boston University School of Medicine, USA)
10．Constrictive Pericarditis
Bijoy K Khandheria (Mayo Clinic, USA)
会長講演
心不全の病態生理とその分子機序－病態理解の変遷と新しい治療概念－
Pathophysiology and Molecular Mechanism in Failing Heart
松崎益徳(山口大学器官病態内科学)
プレナリーセッション
1．薬剤溶出性ステントの長期予後と問題点
(Drug-Eluting Stents: Long-Term Effects and Emerging Problems)
2．再灌流療法前後の治療戦略
(Myocardial Protection Strategy after Reperfusion Therapy in Acute
3．炎症・免疫と動脈硬化
(Roles of Inflammation and Immunity in Atherosclerosis)
4．QT 延長のサイエンス
(New Scientific Approaches to QT Prolongation)
5．心不全におけるカルシウムハンドリング異常
(Calcium Handling Abnormality in Heart Failure)
6．心筋再生の最近の進歩
(Recent Update in Myocardial Regeneration: The Present Status and the Future Directions)
7．循環器病のゲノム研究－現状と将来－
(Genomic Approaches to Cardiovascular Diseases －Present and Future－)
シンポジウム
1．DES 時代の薬物療法を再評価する

（Re-Evaluation of Drug Therapy in DES Era）
2．冠攣縮を見直す
（Coronary Spasm Revisited）
3．メタボリックシンドロームと動脈硬化
（Metabolic Syndrome and Atherosclerosis）
4．大動脈疾患の治療の進歩
（Recent Progress in the Treatment of Aortic Diseases）
5．特発性心室細動の病態と治療の新展開
（New Findings of Mechanism and Therapeutic Strategies of Idiopathic Ventricular Fibrillation）
6．心房細動の総合的マネージメント
（Recent Strategies for Total Management of Atrial Fibrillation）
7．心不全の発症機序と新しい治療標的
（Molecular Mechanism and Novel Therapeutic Target in Heart Failure）
8．重症心不全の非薬物療法
（New Strategies for Management of Severe Heart Failure with New Devices and Surgery）
9．虚血性僧帽弁逆流の集学的治療
（New Insight for Treatment of Ischemic Mitral Regurgitation）
10．心筋症の最新知見－新しいアプローチ，新しい標的
（Update in Cardiomyopathy－Novel Approaches, Novel Targets－）
11．高血圧と脳・心・腎連関
（Stroke and Cardiorenal Complications in Hypertension）
12．臨床応用された循環器疾患の再生療法
（Clinical Experiences of Regenerative Medicine in Cardiovascular Diseases）
13．動脈硬化プラークイメージングの最先端
（Freshscent Forefront in Atherosclerotic Plaque Imagings）
14．心臓画像診断：心臓CT・心臓MR・PET 最前線
（New Horizon of MDCT, MRI and PET in Diagnostic Cardiac Imaging）
15．心エコー・ドプラ法の最前線
（New Trends in Echocardiography）
16．新しい心臓リハビリテーションのあり方
（Cardiac Rehabilitation: Innovative Approach to Improve Patient Care）
17．循環器診療をとりまく医療経済の現状と問題点〈日本語〉
（Comprehensive Economics in Clinical Cardiology －Current Status and Problems－）
18．日本発のエビデンスをガイドラインにどう活かせるか？〈日本語〉
（How Can We Make the Best Use of Japanese Evidences for Future Guidelines）
19．心房中隔欠損症の新しい治療戦略〈日本語〉
（New Therapeutic Strategy for Atrial Septal Defect）
20．女性循環器医の現状と明日への期待〈日本語〉
（The State and the Future for Women in Cardiology）

ジョイントシンポジウム
1．ESC-JCS Joint Symposium
Evidence-Based Medical Treatment of Hypertension
2．APSC-JCS Joint Symposium
Cardiac Imaging in Asia
3．AHA-JCS Joint Symposium
Vulnerable Plaques: Pathogenesis and Non-invasive Approaches to Detection
4．ACC-JCS Joint Symposium
Topics in the Treatment of Severe Heart Failure

ラウンドテーブルディスカッション
1．MDCT は非侵襲的プラーク診断にどこまで迫れるか
2．冠動脈を診る
3．DES 時代の冠動脈バイパス
4．心血管疾患のバイオマーカー
5．睡眠時無呼吸と心疾患
6．肺高血圧を治療する
7．慢性炎症と心血管疾患
8．先天性心疾患の外科治療の進歩

トピック
コントロバーシー
ミート・ザ・エキスパート
モーニングレクチャー
Late Breaking Clinical Trials I, II
会長特別企画
医療従事者の過重労働を考える

日本の循環器診療における先進医療の現状
Japan-Korea Cardiovascular Conference
循環器疾患の先端医療とtranslational research
循環器医としてCKDにどう対処するか
市民公開講座
「健康寿命を延ばすために！～生活習慣病に打ち勝つ～」
第36回循環器教育セッション
Ⅰ．心疾患患者の心臓手術・非心臓手術のリスク評価
Ⅱ．日本における心臓突然死
Ⅲ．糖尿病と循環器疾患
サテライトセミナー（ランチョンセミナー，ファイアサイドセミナー）
学術委員会セッション
ガイドラインに学ぶ１，２
ガイドライン１，２，３
国際交流委員会セミナー
１．China-Japan Cardiovascular Forum 2008
Biomarkers in Cardiovascular Diseases in China and Japan
２．World Heart Federation Session
Go Red for women
保険医療セミナー
「平成20年度診療報酬改定のポイント」
第４回心臓移植セミナー
「我が国の心臓移植後患者の長期予後－QOLの現状と今後の課題」
第７回医療安全・医療倫理に関する講演会
「医療安全のために我々は今何をなすべきなのか」
第７回禁煙推進セミナー
「Smokeless Tobacco は harm reductionに役立つか？　それとも“たばこ：どんな形や装いでも命取り”（WHO，厚生労働省訳）か？」
循環器救急医療セミナー
「循環器救急医療の現状と展望を考える」
第６回禁煙推進のための市民公開講座
「みんなの健康を守ろう・絶対！禁煙」
第６回心肺蘇生法市民公開講座
「だれでもできる心肺蘇生法・だれでも使えるAED」
循環器研究委託費優秀研究発表
コメディカルセッション
教育講演
⑴循環器領域における臨床検査法の進歩
⑵心不全の病態と治療を理解する
⑶心肺リハビリテーションのあり方
⑷信頼を得る医療のために　～患者・家族の声～
⑸心臓病患者さんの食育を考える
シンポジウム
⑴循環器画像のクオリティーの向上に向けて
⑵心臓病学のリハビリテーションの進歩と課題
⑶循環器領域のクリティカルケア
⑷循環器領域に於けるチーム医療とは
⑸個人情報保護時代の記録のあり方を問う
⑹循環器領域における治験コーディネーターの役割
機器，書籍展示

第33回日本心臓財団佐藤賞
選考委員長　松﨑益徳（山口大学器官病態内科学）
・清水　渉（国立循環器病センター心臓血管内科）
致死性不整脈疾患の遺伝子診断とその臨床応用
第25回Young Investigator's Award　●最優秀賞
選考委員長　堀　正二（大阪大学循環器内科学）
●西村　智（東京大学循環器内科）
Vascular malfunction and inflammatory cell dynamics in obese adipose tissue revealed by in vivo molecular imaging
・湯浅慎介（慶應義塾大学循環器内科）
Zac1 is an essential transcription factor in cardiac morphogenesis
・朝野仁裕（大阪大学循環器内科学）
Altered Epigenetic Memory with Chromatin Disruption in the End-Stage Failing Heart
・山口　修（大阪大学循環器内科学）
Identification of molecular mechanisms for the connection of necrotic stimuli with cyclophilin D-dependent mitochondrial permeability transition and heart failure
・竹下享典（名古屋大学循環器内科学）
Notch Signaling Involved in Intimal Thickening and Macrophage Accumulation
第６回国際留学生Young Investigator's Award
●最優秀賞
選考委員長　小川　聡（慶應義塾大学循環器内科）
・Udin Bahrudin（鳥取大学遺伝子再生医療学）
Role of the Ubiquitin Proteasome System in the Development of Heart Failure in Hypertrophic Cardiomyopathy Caused by a Mutation of Cardiac Myosin Binding Protein C
・宋　海花（順天堂大学循環器内科）
GATA3 Expression is Essential for Tie2 Expression and Angiopoietin-1/Tie2-Mediated

Signaling in Endothelium
・顔　培実（京都大学再生医科学研究所付属幹細胞医学研究センター　幹細胞分化制御研究領域）
Efficient and Specific Expansion of Highly Cardiogenic Progenitors from Embryonic Stem Cells by Cyclosporin-A:A Novel Promising Basis for Cardiac Regeneration
・陳　玲（九州大学循環器内科）
An Innovative Therapeutic Approach for Pulmonary Arterial Hypertension:Single Intratracheal Administration of Bioabsorbable Nanoparticle Incorporated with Statin Ameliorates Monocrotaline-Induced Pulmonary Arterial Hypertension and Survival
● Dyah Wulan Anggrahini（神戸大学循環器内科学）
Disruption of Endothelial Cells-Specific Endothelin-1 Gene Reduced Matrix Deposition in Atherosclerotic Lesion of Innominate Artery in Apolipoprotein E-Null Mice

第16回CPIS賞
選考委員長　永井良三（東京大学循環器内科）
・古橋眞人（Harvard School of Public Health, Department of Genetics & Complex Diseases）
Treatment of diabetes and atherosclerosis by inhibiting fatty-acid-binding protein aP2

第17回八木賞
選考委員長　友池仁暢（国立循環器病センター）
・中岡良和（大阪大学循環器内科学）
Gab family proteins are essential for postnatal maintenance of cardiac function via neuregulin-1/ErbB signaling

第８回高安賞
選考委員長　北　　徹（京都大学内科系専攻内科学講座循環器内科学）
・粟田政樹（独立行政法人労働者健康福祉機構関西労災病院循環器科）
Serial Angioscopic Evidence of Incomplete Neointimal Coverage After Sirolimus-Eluting Stent Implantation: Comparison With Bare-Metal Stents

第３回心臓血管外科賞
選考委員長　坂田隆造（鹿児島大学循環器・呼吸器・消化器疾患制御学）
・中嶋博之（国立循環器病センター心臓血管外科）
Angiographic flow grading and graft arrangement of arterial conduits

第３回小児循環器賞
選考委員長　佐地　勉（東邦大学医療センター大森病院第一小児科）
・梶本英美（久留米大学循環器病研究所）
Oxygen Activates the Rho/Rho-Kinase Pathway and Induces RhoB and ROCK-1 Expression in Human and Rabbit Ductus Arteriosus by Increasing Mitochondria-Derived Reactive Oxygen Species

第２回循環器再生医科学賞
選考委員長　藤原久義（兵庫県立尼崎病院）
基礎研究部門
・山原研一（国立循環器病センター研究所再生医療部）
Augmentation of Neovascularizaiton in Hindlimb Ischemia by Combined Transplantation of Human Embryonic Stem Cells-derived Endothelial and Mural Cells
臨床研究部門
・竹原有史（京都大学探索医療センター）
Dose-dependent functional recovery and immune response of human cardiac stem cell transplantation combined with controlled delivery of angiogenic growth factor in chronic myocardial infarction

第１回女性研究者奨励賞
選考委員長　和泉　徹（北里大学医学部循環器内科学）
・宮坂陽子（関西医科大学附属枚方病院第二内科）
Mortality Trends in Patients Diagnosed With First Atrial Fibrillation

第４回Circulation Journal Award
選考委員長　松﨑益徳（山口大学器官病態内科学）
Clinical Investigation
最優秀賞
・和田恭一（国立循環器病センター薬剤部）
Relationship Between Acute Rejection and Cyclosporine or Mycophenolic Acid Levels in Japanese Heart Transplantation (Circ J 2007; 71: 289 - 293)
優秀賞
・北原辰郎（山形大学医学部附属病院第一内科）
Serum Carboxy-Terminal Telopeptide of Type I Collagen (ICTP) Predicts Cardiac Events in Chronic Heart Failure Patients With Preserved Left Ventricular Systolic Function (Circ J 2007; 71: 929 - 935)
・辰巳哲也（京都府立医科大学循環器内科）
Intracoronary Transplantation of Non-Expand-

ed Peripheral Blood-Derived Mononuclear Cells Promotes Improvement of Cardiac Function in Patients With Acute Myocardial Infarction (Circ J 2007; 71: 1199 - 1207)

Experimental Investigation

最優秀賞

・豊田英嗣(川崎医科大学循環器内科)
Novel Rat Model of Ischemic Cardiomyopathy Induced by Repetitive Myocardial Ischemia/Reperfusion Injury While Conscious (Circ J 2007; 71: 788 - 795)

優秀賞

・原田睦生(山形大学医学部附属病院循環器科)
Diacylglycerol Kinase ξ Attenuates Pressure Overload-Induced Cardiac Hypertrophy (Circ J 2007; 71: 276 - 282)

2. 日本循環器学会地方学術集会

第97回北海道地方会
会期：2007年6月16日(土)
会場：札幌市教育文化会館(札幌市)
会長：筒井裕之(北海道大学循環病態内科学)
参加人数：350名
発表演題：51題

第98回北海道地方会
会期：2007年10月6日(土)
会場：かでる2・7(札幌市)
会長：樋上哲哉(札幌医科大学外科学第二講座)
参加人数：200名
発表演題：27題

第144回東北地方会
会期：2007年6月9日(土)
会場：岩手医科大学六十周年記念館(盛岡市)
会長：奥村　謙(弘前大学循環器・呼吸器・腎臓内科)
参加人数：117名
発表演題：60題

第145回東北地方会
会期：2008年2月23日(土)
会場：フォレスト仙台(仙台市)
会長：下川宏明(東北大学循環器病態学分野)
参加人数：123名
発表演題：70題

第204回関東甲信越地方会
会期：2007年6月2日(土)
会場：コクヨホール(港区)
会長：小室一成(千葉大学循環器内科)
参加人数：717名
発表演題：103題

第205回関東甲信越地方会
会期：2007年9月29日(土)
会場：砂防会館(千代田区)
会長：廣江道昭(国立国際医療センター腎臓・循環器科)
参加人数：737名
発表演題：116題

第206回関東甲信越地方会
会期：2007年12月1日(土)
会場：ベルサール九段(千代田区)
会長：桑島　巌(東京都老人医療センター循環器科)
参加人数：721名
発表演題：94題

第207回関東甲信越地方会
会期：2008年2月9日(土)
会場：学士会館(千代田区)
会長：田邉晃久(東海大学医学部附属病院循環器内科)
参加人数：657名
発表演題：92題

第129回東海地方会
会期：2007年6月23日(土)
会場：名古屋国際会議場(名古屋市)
会長：平井真理(名古屋大学医学部保健学科)
参加人数：616名
発表演題：154題

第114回北陸地方会
会期：2007年7月1日(日)
会場：金沢医科大学(河北郡内灘町)
会長：梶波康二(金沢医科大学循環器内科)
参加人数：150名
発表演題：56題

第130回東海・第115回北陸合同地方会
会期：2007年11月17日(土)～18日(日)
会場：石川厚生年金会館(金沢市)
会長：高田重男(金沢大学保健学科)
参加人数：451名
発表演題：175題

第103回近畿地方会
会期：2007年6月9日(土)
会場：大阪国際交流センター(大阪市)
会長：友池仁暢(国立循環器病センター)
参加人数：814名
発表演題：147題

第104回近畿地方会
会期：2007年12月8日(土)
会場：国立京都国際会館(京都市)
会長：藤田正俊(京都大学医学部保健学科)

参加人数：809名
発表演題：228題
第90回中国・四国合同地方会
会期：2007年６月８日(金)～９日(土)
会場：松山市総合コミュニティーセンター(松山市)
会長：伊藤武俊(愛媛県立今治病院)
参加人数：471名
発表演題：216題
第91回中国地方会
会期：2007年12月１日(土)
会場：米子コンベンションセンター(米子市)
会長：久留一郎(鳥取大学医学系研究科再生医療学分野)
参加人数：237名
発表演題：123題
第91回四国地方会
会期：2007年11月10日(土)
会場：高知城ホール(高知市)
会長：杉浦哲朗(高知大学病態情報診断学)
参加人数：245名
発表演題：97題
第102回九州地方会
会期：2007年６月23日(土)
会場：宮崎県農協会館JA・AZMホール(宮崎市)
会長：鬼塚敏男(宮崎大学循環呼吸・総合外科学)
参加人数：375名
発表演題：131題
第103回九州地方会
会期：2007年12月１日(土)
会場：別府ビーコンプラザ(別府市)
会長：牧野直樹(九州大学生体防御医学研究所老化制御学分野)
参加人数：560名
発表演題：163題

3. 学術研究班

1．急性心筋梗塞(ST上昇型)の診療ガイドライン
(班長：高野照夫)
2．ペースメーカー，ICD，CRTを受けた患者の社会復帰・就学・就労に関するガイドライン
(班長：奥村　謙)
3．冠攣縮性狭心症の診断と治療に関するガイドライン
(班長：小川久雄)
4．脳血管障害，腎機能障害，末梢血管障害を合併した心疾患の管理に関するガイドライン
(班長：堀　正二)
5．血管炎症候群の診療ガイドライン
(班長：尾崎承一)
6．冠動脈病変の非侵襲的診断法に関するガイドライン
(班長：山科　章)
7．循環器医のための心肺蘇生に関するガイドライン
(班長：笠貫　宏)
8．先天性心疾患の診断，病態把握，治療選択のための検査法の選択ガイドライン
(班長：濱岡建城)
9．循環器診療における検査･治療機器の使用，保守管理に関するガイドライン
(班長：菊地　眞)
10．心房細動治療(薬物)ガイドライン(改訂)
(班長：小川　聡)
11．冠動脈疾患におけるインターベンション治療の適応ガイドライン－待機的PCI－(改訂)
(班長：藤原久義)
12．非心臓手術における合併心疾患の評価と管理に関するガイドライン(改訂)
(班長：許　俊鋭)
13．感染症心内膜炎の予防と治療に関するガイドライン(改訂)
(班長：宮武邦夫)
14．川崎病心臓血管後遺症の診断と治療に関するガイドライン(改訂)
(班長：小川俊一)
15．心疾患患者の学校，職域，スポーツにおける運動許容基準に関するガイドライン(改訂)
(班長：長嶋正實)

4. 循環器関連学会

第43回日本循環器病予防学会・日本循環器管理研究協議会
会期：2007年５月26日(土)～27日(日)
会場：コラボしが21(大津市)
会長：上島弘嗣(滋賀医科大学福祉保健医学)
第22回日本不整脈学会
会期：2007年５月31日(木)～６月２日(土)
会場：リーガロイヤルホテル広島(広島市)
会長：末田泰二郎(広島大学病態制御医科学)
第16回日本心血管インターベンション学会
会期：2007年６月21日(木)～23日(土)

会場：ビッグパレットふくしま（郡山市）
会長：木島幹博（星総合病院心臓病センター循環器内科）
第43回日本小児循環器病学会
会期：2007年７月４日（水）～６日（金）
会場：京王プラザホテル（新宿区）
会長：黒澤博身（東京女子医科大学心臓血管外科）
第39回日本動脈硬化学会
会期：2007年７月13日（金）～14日（土）
会場：大阪国際会議場（大阪市）
会長：上田真喜子（大阪市立大学病理病態学）
第11回日本心不全学会
会期：2007年９月９日（日）～10日（月）
会場：ヒルトン東京ベイ（千葉市）
会長：友池仁暢（国立循環器病センター）
第55回日本心臓病学会
会期：2007年９月10日（月）～12日（水）
会場：東京ベイホテル東急，他（千葉県）
会長：斎藤　穎（日本大学先端医学）
第24回日本心電学会
会期：2007年10月５日（金）～６日（土）
会場：名古屋国際会議場（名古屋市）
会長：児玉逸雄（名古屋大学環境医学研究所）
第60回日本胸部外科学会
会期：2007年10月17日（水）～20日（土）
会場：仙台国際センター（仙台市）
会長：田林晄一（東北大学心臓血管外科）
第30回日本高血圧学会
会期：2007年10月25日（木）～27日（土）
会場：沖縄コンベンションセンター（宜野湾市）
会長：瀧下修一（琉球大学循環器系総合内科学）
第48回日本脈管学会
会期：2007年10月25日（木）～27日（土）
会場：ホテルブエナビスタ他（松本市）
会長：大橋俊夫（信州大学器官制御生理学）
第21回日本冠疾患学会
会期：2007年12月14日（金）～15日（土）
会場：国立京都国際会館（京都市）
会長：（外科系）夜久　均（京都府立医科大学心臓血管・呼吸器外科）
（内科系）木村　剛（京都大学循環器内科学）
第38回日本心臓血管外科学会
会期：2008年2月20日（水）～22日（金）
会場：福岡国際会議場（福岡市）
会長：青柳成明（久留米大学外科学）

5.　循環器専門医制度

⑴　循環器専門医認定：2007年８月26日，東京国際フォーラム（東京），大阪国際会議場（大阪）の２会場で第18回循環器専門医試験を実施，認定者は640名（2008年４月１日認定）．

⑵　循環器専門医認定更新：2008.4.1更新（1993・1998・2003年度認定）循環器専門医1314名の認定更新及び2007.4.1更新（1992・1997・2002年度認定）循環器専門医３名の認定更新が承認された．

⑶　循環器研修施設指定：2008年度指定循環器研修施設は47施設の指定が承認された．

⑷　循環器研修関連施設指定：2008年度指定循環器研修関連施設は50施設の指定が承認された．

⑸　循環器研修施設指定更新：2008年度循環器研修施設は508施設の指定更新が承認された．

⑹　循環器研修関連施設指定更新：2008年度循環器研修関連施設は119施設の指定更新が承認された．

※更新者数は2008年１月31日までに手続きを完了された方のみ掲載しております．2008年２月１日以降に手続きをされた方は掲載しておりませんのでご了承ください．

⑺　『循環器専門医』刊行：専門医編集委員会からVol.15 No.1，Vol.15 No.2を出版．Vol.16 No.1を出版予定．Vol.15 No.1は特集Ⅰ「基礎科学の進歩」特集Ⅱ「第70回日本循環器学会学術集会」（B5版189頁）Vol.15 No.2は特集「第71回日本循環器学会学術集会」（B5版184頁）Vol.16 No.1は特集Ⅰ「基礎科学の進歩」特集Ⅱ「第71回日本循環器学会学術集会」

6.　国際学会等

⑴　29th European Society of Cardiology, September 1-5, 2007, Vienna, Austria

⑵　第18回長城国際心臓病学会，2007年10月10日～13日，北京，中華人民共和国

⑶　第３回日中心血管フォーラム，2007年10月10日，北京，中華人民共和国

⑷　American Heart Association 80th Scientific Sessions, November 4-7, 2007, Orlando: FL, USA

⑸　16th Asian Pacific Congress of Cardiology, December 13-16, 2007, Taipei, Taiwan

⑹　American College of Cardiology 57th Annual Scientific Sessions, March 29-April 1, 2008, Chicago, IL, USA

7. 機関誌刊行

⑴ 機関誌Circ. J. Vol. 71　2007年は12冊2,058頁，平均発行部数約22,800部，原著投稿論文345件1,991頁(96.7%)，その他67頁(3.3%)を掲載.

⑵ Circ. J. Supplementは(1,386頁，平均発行部数22,800部)，英文誌1冊と和文誌4冊の合計5冊，以下に内容を記す；英文誌Arrhythmias 2007 Overview，Review Article 16件114頁，年次学術集会和文抄録2,558件778頁(56.1%)，地方会学術集会抄録2,006件242頁(17.5%)，学術委員会ガイドライン217頁(15.7%)，その他35頁(2.5%)を掲載.

⑶ 2006年の投稿論文(Regular Paper，Case Reports)は，受付678件，内2008年2月28日現在までの採用は340件，不採用335件(辞退，修正期限超過を含む)，修正中3件で，採択率はRegular Paperは57.3%，Case Reportは19.5%であった.
また，Rapid Communicationは，受付8件，採用6件，不採用2件で，採択率は75.0%であった.

⑷ 2007年の投稿論文は，2008年2月28日現在までの受付1,088件(内有効論文1020件)，採用は342件，不採用533件，審査及び修正中145件であった.
査読にはEditorial Boardを含め628名(12号掲載)がその任務にあたった.

⑸ 2006年のImpact factorは，2.135であった.

⑹ 『循環器専門医』Vol.15 No.1，Vol.15 No.2を専門医編集委員会から出版，Vol.16 No.1を専門医編集委員会から出版予定，B5版，和文誌.

8. その他の事業報告

⑴ ガイドライン作成
2005－2006年度活動の3班のガイドラインとそのダイジェスト版を公表し，第72回学術集会会期中に「ガイドライン解説」セッションおよび2007年改訂版の4班と2006－2007年度活動の5班の「ガイドラインに学ぶ」セッションを開催した.

⑵ 第71回学術集会コングレスレポートのホームページへの掲載
第71回学術集会における招請講演等のハイライトを学会の英文ホームページで報告した．また海外学会(AHA，ESC，GW-ICC，APCC)の日循ブースにてCD-R版を配布した.

⑶ 海外学会との共同シンポジウム等の実施
1）AHA：第80回AHAの正式プログラムの一部として，AHA/JCS共催のジョイントセミナーを開催した.
2）アジア：第38回フィリピン心臓病学会，第16回Asean Congress of Cardiologyに演者を派遣した.

⑷ 海外学会への日循広報ブースの出展
第80回AHA，第29回ESC，第18回GW-ICC，第16回APCCの展示会場にて，学会及び学術集会の広報ブースを設置した.

⑸ 卒後教育研修用DVDの製作・販売
学会員の知識，技能の向上に資するため，卒後教育研修用DVDの企画・製作を行った.

⑹ 禁煙推進活動
循環器疾患の予防と治療にとって重要である喫煙対策を学会として積極的に取り組んだ.
1）情報発信のホームページの充実
2）第72回学術集会における医師向け第7回禁煙推進セミナー，第6回禁煙推進のための市民公開講座の開催
3）喫煙防止教育DVD，禁煙パスポート冊子等の禁煙教材の販売
4）禁煙治療のための標準手順書の解説DVD製作

⑺ 第3回循環器専門医を志す研修医のための卒後セミナーの実施

⑻ 診療報酬に関する調査
JCS独自の調査として，DPC実態調査を行った.

⑼ 心肺蘇生法普及活動
1）JCS-ITCとして，各地でAHA BLSヘルスケアプロバイダーコース，AHA ACLSプロバイダーコースを開催した.
2）インストラクター養成のためコアインストラクターコース，BLSインストラクターコース，ACLSインストラクターコースを開催した.
3）第72回学術集会期間中に心肺蘇生法市民公開講座を開催した.

⑽ 「医療安全・医療倫理に関する講演会(主催：医療安全・医療倫理委員会)」の開催
第72回学術集会期間中に「医療安全のために我々は今何をなすべきなのか」をテーマに識者を招いて講演会を開催した.

⑾ 心臓移植関連の事業
1）1997年から2007年6月までに申請があり，心臓移植適応検討を行った385例について予後調査を行い，調査結果の

まとめを作成した．

2）第72回学術集会期間中に「我が国の心臓移植後患者の長期予後－QOLの現状と今後の課題」をテーマに第４回心臓移植セミナーを開催した．

3）全国の大学・大学校・短期大学・警察学校および自衛隊各地方部隊約1,300施設に，臓器提供意思表示カードと普及・啓発ポスターなどを配付し，臓器提供意思表示カード普及・啓発活動を行った．

4）インターネットによる心臓移植適応検討申請システムを導入した．

5）心臓移植実施施設の機能移転に際し疑義が生じたため，心臓移植関連学会協議会を開催し検討を行った．

⑿ 循環器疾患診療実態調査

全国の循環器科・心臓血管外科を標榜する3,953施設に調査依頼を行い，Webを用いて調査を行った．調査対象期間は2006年１月１日～12月の１年間で，1,414施設(35.8％)から回答が寄せられた．

⒀ 国際名誉会員

第72回学術集会にて国際名誉会員の表彰を行った．

⒁ 日本循環器学会ブースの出展

第72回学術集会の期間中，附設展示会場にて学会活動紹介のための日本循環器学会ブースを出展した．

⒂ 学会ニュースメールの配信

会員向けに学会からのお知らせなどを掲載したニュースメール「JCS Newsletter」を配信した．

⒃ プレスセミナーの開催

一般市民への啓発を目的として，プレスを対象としたセミナーを開催した．セミナーのテーマには「心肺蘇生」を取り上げた．

⒄ 循環器学用語集の編纂

『循環器学用語集』改訂三版の刊行は，引き続き出版準備作業中である．

9. その他の刊行物など

(1) 循環器研修ビジュアルシリーズ(VHS/DVD)

Vol.11「弁膜症の内科治療と手術のタイミング」

Vol.12「急性冠症候群の治療戦略」

(2) 第３回循環器専門医を志す研修医のための卒後セミナーテキスト

(3) 第35回循環器教育セッションDVD

Circ. J. Vol. 71 刊行状況

	原著論文		学術集会記録 他			本文頁数計
	論文数	頁数	抄録数	頁数	その他頁数	
Circ. J.（英文誌）						
No.1	27	171	−	−	1	172
2	22	115	−	−	1	116
3	27	159	−	−	1	160
4	29	173	−	−	1	174
5	30	183	−	−	1	184
6	30	187	−	−	1	188
7	30	177	−	−	1	178
8	30	161	−	−	1	162
9	30	168	−	−	0	168
10	30	165	−	−	1	166
11	30	165	−	−	1	166
12	30	167	−	−	57	224
小計	345	1,991	−	−	67	2,058
Supplement						
（英文誌）						
A	16	114	−	−	0	114
（和文誌）						
Ⅰ	−	−	2,558	778	26	804
Ⅱ	−	−	986	120	0	120
Ⅲ	−	−	1,020	122	0	122
Ⅳ				217	9	226
小計	−	−	4,564	1,237	35	1,386
合計	361	2,105	4,564	1,237	102	3,444

『循環器専門医』刊行状況（専門医制度委員会）

	本文頁数	専門医News頁数	頁数計
Vol.15 No.1	161	28	189
Vol.15 No.2	164	20	184
Vol.16 No.1	※	※	※
計	325	48	373

※2008年３月25日発刊予定